



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	TVC 株式会社
所在地	鳥取県西伯郡南部町原 938 番地 2
代表者	代表取締役 鷺尾 雅文
業種	製造業
事業概要	<p>親会社 NOK 株式会社の技術のもと、国内自動車メーカー向けを主とした防振防音ゴム製品の製造を行っている。</p> <p>主力製品である TVD は国内シェア 60%を占めており、直近ではエンジン向け製品だけではなく、車体各所における各種防振製品も販売拡大しており、国内だけでなく世界の自動車業界において欠かせない製品を提供する事業を展開している。</p>

とっとり SDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名:TVC 株式会社]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

防振ゴム製品を製造する当社は、経営理念である「愛情と信頼」をもとに「従業員は会社の財産」と考え、「安全ダントツ」を掲げ、従業員の安全と健康を第一に考えて事業を行っています。定期的に安全点検を行い問題点を改善するとともに、安全衛生や交通安全に関する情報はリアルタイムに情報を社内共有し意識向上を図っています。また、やりにくい作業や困りごとは適宜上長が吸い上げて、フィードバックを行うことでコミュニケーション向上、問題点改善を行い、従業員が働きやすい「安全・安心な企業」を実現します。

製品を製造するうえで多くの材料や資材を購入しますが、全ての使用材料についてグリーン調達を行っており、RoHS 指令や REACH 規則を遵守した環境に配慮したモノづくりを行い、安定して高品質製品を社会へ供給していきます。

製品以外でも自社で排水処理施設を有しており、工場内で発生する汚染水を全て処理しています。最終放流手前では 24 時間 PH を測定しており、異常値の場合は自動的に放流を停止し再処理する機能を有しており、汚染水が敷地外へ放流しない体制を整えています。2023 年度には亜鉛やフッ素の測定機械を導入し、24 時間監視を行う予定です。

カーボンニュートラル活動においては、2030 年までの削減ロードマップを作成し、2018 年度対比 CO2 排出量が 50%となるように計画的に活動を推進していきます。

また事業活動を行ううえで、地域共存は不可欠と考えています。地元企業が行う地域貢献作業への参加、地域イベントへのボランティア協力、出前授業など、当社ができることは積極的に参加し、地域の一員として「持続的な地域社会への貢献」していきます。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

社会 1 労働災害の防止
経済 8 デジタル化による生産性向上
環境 5 カーボンニュートラル②

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

社会 1 労働災害の防止

同じ災害が再発しないよう、過去発生事例については年に1回対策が維持されているかを確認します。また類似作業があるかも全社的に横展開確認し、該当がある場合は確実に対策を実施します。

またヒヤリハット活動を行っていますが、集まったヒヤリハットを自動集計、分析し、工場内で多く打ちあがる危険地帯に見える化して優先的に対策ができる体制をつくります。

負の側面としては、ハード面対策では費用増、ソフト面では危険意識の低下が懸念されます。危険意識については KYT 教育を定期的に行うとともに、実際に危険が体感できる教育を取り入れて、低下ではなく逆に意識向上する取り組みを行います。

経済 8 デジタル化による生産性向上

バーコードシステムの拡充による計数業務や在庫管理を強化し、業務効率向上、生産性向上を図ります。また従来より紙媒体で運用中の各種手続きや集計業務をデータベースやソフトウェアを活用しペーパーレス化も加速させ、資源削減を行います。

負の側面としては、新たな IT を使用するにあたり、データの移行と使用者への教育が必要になります。専門部署を主体に IT に不慣れな人でもわかりやすいような教育を行うとともに個別フォローも行い、誰もが同じやり方で出来るよう人によるバラツキやミス防止を図ります。

環境 5 カーボンニュートラル②

2023 年度以降は生産が増える計画となっており、それに伴い電力使用量が増加する恐れがあります。エアコンやコンプレッサーは省エネタイプを導入するとともに、各工場に設置されているコンプレッサーの制御を行い効率運転を行うことで使用量削減を行います。また電力監視装置を設置して電力やエアーの見える化を行うことでムダを見つけ、改善を図ります。

負の側面としては設備投資の増加と旧式の廃棄があげられます。極力廃棄を防止するため日々の清掃や定期点検・保全を確実にし、機器の最大限の能力と耐用年数維持を行います。

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月安全衛生委員会にて労働衛生に関する確認周知を行っている。 ・社内安全衛生心得手帳を年1回読み合わせ、理解度確認し安全作業を啓蒙している ・KYT教育を行い、危険予知を高め安全作業を心がけている ・ヒヤリハットを収集し、類似事象も含め対策を講じている 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>2025年度の労災発生件数ゼロを目指す</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には現活動を継続する ・過去トラを年1回点検し、対策維持の確認 ・危険体感教育を導入し、危険予知を高める
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止に関し、就業規則に規定し発生防止に努めている ・ハラスメントに関する相談窓口を整備しカード化して従業員に配布している 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>2025年度ハラスメント事象を発生をさない</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてハラスメント体制のアップデート ・年1回ハラスメント教育、理解度確認を行い意識を継続する
3	女性の活躍	○	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 18% (2023/3月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 2% (2023/3月時点)</p> <p>女性従業員の勤続年数平均 8年 (2023/3/末時点)</p> <p>【主な取組】</p> <p>全社的な会議で時間外削減、休暇取得推奨、ワークライフバランス強化を定期的に発信している。(時間外、有給休暇を月次監視している)</p> <p>育児休業制度、女性は100%取得している。</p> <p>短時間勤務、時差勤務制度を導入し、積極的利用を推進しており、結果以下に認定・登録されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取県女性活躍パワーアップ企業」に登録 ・「南部町イクボスなんぶ共同宣言」に認定 ・「南部町子育て応援企業」に認定 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 25% (2026/3月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 5% (2026/3月時点)</p> <p>女性従業員の勤続年数平均 10年 (2025/3月時点)</p> <p>を目指す</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人情報を活用し女性の積極的採用 ・重量物作業を順次改善し、女性でも働きやすい職場づくりを目指す ・女性向け社内健康イベントを開催する ・男性の育児休暇取得を推進する
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規入社の際には全ての人に受入教育を実施し、老若男女問わず働きやすい体制整備 ・再雇用制度を導入し、熟練者の知識を継承する仕組みをつくっている。 ・労働負荷軽減のため自動化の推進、重量物作業の低減に努めている。 ・年に2回、人事考課の実施と希望者には面談を実施し困りごと等を聞く場を設けている ・同一労働同一賃金を取り入れて処遇面で格差なきよう取り組んでいる ・技能実習制度を導入し、国外実習生を受け入れている ・非正規社員の正社員登用を行っている 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>2023年度以降も継続的に技能実習生を受け入れる</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規社員の正社員登用を継続しモチベーションアップを図る ・重量物運搬作業を調査・対策し、誰でも作業できる環境づくりに取り組む ・技能実習生について、各自に携帯電話支給を行い、緊急サポートセンター(通訳常駐)にいつでも連絡できる体制をとる。
6	多様な働き方の促進	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜出勤日のうち年3日を有給休暇一斉取得日として全員が休める環境をつくっている ・リフレッシュ休暇制度を導入し、長期休暇が取得できる環境を整えている。 ・長時間労働従業員には産業医による面談を実施している ・日々の体調不調者については常駐看護師と連携を密にして即座に健康確認を行っている ・在宅勤務制度・時差勤務制度を導入し多様な就業体制を整えている 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度以降 有給休暇年6日以上取得率100%を目指す ・2030年度までに完全週休2日制を目指す <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合と定期的に会合を行い総労働時間の短縮を図る。 ・日々の朝昼礼での声掛けを強化し、体調不調者を早期に把握し、早期対処する

7	労働者への人権配慮	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・採用時に雇用契約書を締結している ・従業員満足度調査を年1回実施し改善に取り組んでいる ・年に1回人権教育、理解度確認を行い意識継続を図っている ・協会けんぽ「社員の健康づくり宣言事業所」に認定されている ・技能実習生について、来日前半年及び来日後1カ月は日本の文化や特有のルールを学ぶ場を設け配慮している。また作業以外の日常ルール等もベトナム語化して教育や表示を行っている。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員満足度の前年比向上(2026/3月) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員満足度調査で得た意見の改善を行う ・休憩所のスペース拡大し休憩時間を快適にする ・老朽化したトイレ休憩所の整備する ・年2回共通の教育を全員に行い、意識と知識を共有している ・技能実習生について、支給携帯のグループ機能を活用し、困りごと等をすぐ打ち上げ、対応する仕組みを拡大する。またおおくに地区異文化交流会への参画や地元観光地へ案内し仕事面以外の充実も図り、計画通りの実習を行う。
8	社会配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</u>	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001を認証取得し、その国際法規に則ったモノづくりを行うことで社会へ配慮した製品を提供している。 ・ホームページに問い合わせ欄を設置し、誰でも問い合わせが出来る体制を取っている。 ・地元中学校や高校に出向いて出前授業を行い、製造業の魅力を授業している ・町と災害協定を締結し近隣災害時の避難場所として、有事の際は近隣住民を支援している 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の活動以上の取り組みを行う(～2025/3月) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に町や県と情報共有し、ニーズ収集する
9	地産地消	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・社員食堂で地元産の野菜を使った料理を提供する期間を設けている。 ・車やフォークリフト等の燃料について、近隣の業者と契約して優先的に利用している ・地元の障がい者施設と契約し、来客お土産品(ドーナツ)をつくってもらっている 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の活動を継続する。 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・社内イベントで地元銘品を積極利用する
10	地域社会への貢献 <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の学校の工場見学を受入れている。 ・地元図書館へ3か月に1度、図書を寄贈している ・地元企業共同の貢献活動を実施している(除草作業) <ul style="list-style-type: none"> ・地元の障がい者施設と契約し、来客お土産品(ドーナツ)をつくってもらっている。 ・会社前を通学する児童の交通誘導を定期的に行っている ・地元スポーツ団体をスポンサーとして支援している 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度以降も地域の学校、インターンシップを受け入れる ・2023年度以降、近隣住民や家族を招くイベントを開催する 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招いてのイベント開催 ・従業員の家族見学会を開催予定 ・周辺の美化活動企画 ・町と協力し、地域企業との交流会実施

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・BCP計画、マニュアルを立案しており、定期合合と活動の進捗をフォローしている ・防災訓練を年1回実施し有事の際の避難できる体制をつくっている ・従業員安否システムを取り入れており有事の際の安否が確認できる ・工場毎に消火器・避難経路を掲示している ・設備に耐震対策を施して転倒防止を行っている 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度以降も実態に即したBCPマニュアルへのアップデート 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに基づく訓練を実施し、動けるマニュアルにしていく ・棚類への耐震対策実施する
2	セキュリティ対策	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティルール・ポリシーを策定し公開している ・就業時の秘密保持契約の締結 ・来訪時のPC持ち込み確認 ・親会社のネットワーク利用によりセキュリティ体制を整備している ・共有資料は共有サーバーに保管し毎日バックアップを取っている ・構内に守衛所や監視カメラを設置し防犯強化している 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> 2023年度以降も情報インシデントゼロを継続する 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートを活用したセキュリティ体制整備 ・セキュリティに関する教育を年1回定期実施していく ・必要に応じて監視カメラを増強する
3	法令順守の取組の徹底 必須項目	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則など必要規則を整備している ・工場内は安全靴着用としている ・消防設備や作業環境測定を年2回実施している ・工場内設備の定期自主点検を実施している ・安全衛生法に基づく保護具着用を義務付けている 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> 2023年度以降も法令違反ゼロを継続する。 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・親会社との定期的な情報共有(法改正対応)する ・時間外監視システムを強化する ・年1回コンプライアンス教育と理解度確認を行う
4	情報公開	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・官報に決算公告を公開している ・HPを公開し、定期的に最新情報へアップデートしている。 ・SNS(Facebook、Twitter)にて月1回情報発信している ・地元TVでの企業PR番組へ協力と放送をしている ・県内学校へ配布される企業ガイド掲載している ・県西部のサイネージなどに企業PR掲載している 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度SNSのフォロワーを20%増やす ・2023年度以降もHPの定期アップデートによる最新情報の公開 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続していくとともに新たな公開方法を検討し、実施していく ・認知度調査を行い、活動の効果を確認する
5	後継者の確保	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・管理職教育を実施している ・数年後の組織を見据えた人員配置を検討する場を定期的に行っている ・月1回経営会議を行い、管理職が経営状況を共有している ・継続的な人材募集と採用を行う 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度、執行役員制度を導入し、経営層により近い人材を登用する 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・執行役員制度の制定し運用していく ・各職位への階層別教育を充実させる

6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ影響による生産増減を加味し、部署間人員調整により生産繁忙を平準化している ・コロナ対応マニュアルを作成し、感染レベルに応じた社内対策を実施している ・Web 会議を有効活用し、出張などを抑制する 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度以降も市場変化について親会社と共有を密にしてい ・2023 年度以降も世間の対策レベルに合わせて社内対応ルールを改定してい 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・生産や人員についての会議を最低月 1 回行い、情報共有と他部署応援を活用してい ・世間動向の情報を入手し、with コロナ運営を行ってい
7	自社以外の経営資源活用	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学振興協会役員として有益情報を共有している ・米子高等専門学校振興協会や役員として有益情報を共有している ・鳥取県共同での T 社 TPS 活動の推進 ・鳥取県産業技術センター主催の「ものづくり塾」参画 ・ 	【今後の目標・達成時期】 <p>2023 年度以降も県や町と協業し、現状以外の活動を実施する</p> 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県共同での鋳造廃棄物リサイクル検討 ・各種交流会で得た有益情報を社内へ展開してい ・研修会や勉強会へ積極的な参加を行う
8	デジタル化による生産性向上	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・バーコードシステムによる在庫管理を一部行っている ・設備自動化による生産性向上を行っている ・画像検査機を導入し作業効率向上を図っている ・データベースを活用しペーパーレス化を推進している ・ソフトウェアを活用し全社アンケートや調査の効率化を図っている 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度、日々の生産状況・損益・全ての在庫の見える化を行う。 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・現在残っている紙業務の順次 IT 化 ・バーコード等 IT を活用し、ムダ作業を削減する ・現在分散されている各データを自動集約し、日々の損益がわかる仕組みを構築し、直ぐにアクションが起す活動をする。
9	雇用の維持・拡大	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・地元高校からの定期採用(5～10 名/年)を行っている ・地元学校からのインターンシップを受入れている ・ハローワーク、広告掲載による採用活動を随時行っている ・新人配属後、1 か月、3 か月目にフォロー教育・面談を実施している ・技能実習制度を利用し、国外より実習を受け入れている 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度、20 名以上の採用を行う 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・設備増強し雇用促進を図る ・離職率低下のためフォロー面談の結果を採用担当にフィードバックしてい ・近隣他社との賃金比較を行い、処遇改善や手当拡充を検討する
10	人材育成・能力開発	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・必要資格取得時の費用会社負担している ・管理職教育の定期実施している ・人事制度を運用しており、適正な人事考課を行っている ・法的資格取得者には手当を支給している 各業務における目標力量を明確にし、半期に 1 度その状況を確認し、指導に活かしている ・3 か月に 1 度、作業手順通りにできているが上長フォローを行っている ・ 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2025 年度までに全社教育計画表を作成し、定期的継続的に実施する仕組みづくりを構築する 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・階層別教育をより充実させ、職位ごとの役割や任務を明確にして育成を促す
+	プラスワン 取引業者との友好関係 ★SDGs に関する特徴的取組で、経済 1～10 に該当しない取組があれば記載できる	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・納入部品について、定期的に意見交換を行い、納入不具合削減に努めている ・支払い条件に基づき 60 日以内、下請法に準じて支払いを行っている。 ・手形や分割払いを行わず、現金一括取引のみとしている 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・2022 対比 2023 年度は納入不具合減を目指す ・2023 年度に「パートナーシップ構築宣言」を登録し、企業価値を高めるとともに SDGs にも貢献する 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・部品業者に対して例年以上に強固に連携し品質面、コスト面で意見交換、アドバイスをを行う。

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・地震・大雪等による、従業員の出勤難、顧客への納期遅延の発生 ・温暖化による熱中症や疫病などの体調不良による人不足。 【分析に基づく主な取組】 ・給水設備を設置し、いつでも水分補給ができる状態にした。 ・熱中症予防対策として、気象情報を毎週朝礼で注意喚起、塩飴の配布、作業前のポカリスウェット配布。 ・BCP 作成	【今後の目標・達成時期】 ・2023 年度以降もBCPに基づき、災害時にも 2 週間以内に生産活動を再開する。 ・2023 年度以降も熱中症ゼロ。 【目標達成に向けた取組】 ・定期的に BCM 委員会を開催し、BCP をブラッシュアップする。 ・現在の取組みを継続し、産業医、保健師と連携して、流行にあった対応をはかっていく。
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・日本国内外で EV の割合が増加しており、この傾向はさらに加速すると想定される。 弊社の主流であった内燃機関の製品が減少し、EV 搭載品が増える。 EV に搭載される部品の増産、新規品の受注、生産対応が課題。 【分析に基づく主な取組】 中期的な顧客情報と販売予測をもとに、必要設備台数の算出と投資計画、増産スペースの確保。	【今後の目標・達成時期】 2030 年度の EV 関連製品、新製品の販売目標を立案 【目標達成に向けた取組】 ・計画に沿った設備投資の実施 ・人材の有効活用のための、改善による省人化の実施、現有品の整理とレイアウトの見直し ・新規品に向けた製造技術の確立
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・製品を製造する際に発生する CO2 が世界の平均気温に影響を及ぼす。 ・エアコンの使用(フロンガス) 【分析に基づく主な取組】 ・生産性向上、不適合率削減により Co2 排出量を減少させる。 ・エアコンフロンガス定期点検 3 回/1 年	【今後の目標・達成時期】 2023 年度以降も前年対比で、生産性を向上し、不適合率を減少する計画を立案し活動を継続していく。 【目標達成に向けた取組】 IT 化、設備の自動化による生産性向上。
4	【カーボンニュートラル①】 <省エネ> 燃料消費量の削減 重点項目	○	<KPI> 2022 年度 重油使用生産設備原単位実績 4.7cc/個 【主な取組】 ・ボイラー台数制御による稼働効率化 ・	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 2025 年度 重油使用生産設備原単位目標 4.5cc/個(2023 年度比 0.2cc/個減) 【目標達成に向けた取組】 ・小型貫流ボイラー機種選定更新 ・蒸気配管系統ジャケット取り付けによるボイラー稼働効率化の推進
5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ> 電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> 2023 年度 20,878t(2018 年度比▲23%) 【主な取組】 ・コンプレッサー制御変更による効率運転 ・エア圧力の見直しによる使用量削減 ・工場照明の LED 化	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 2030 年度 12,663t(2018 年度比▲50%) 【目標達成に向けた取組】 ・監視装置を設置し、電力・エアを見える化を行うことで効率的に改善を行う。 ・工場間のエア配管をループ化することにより、エアを効率的に使用する。 ・エアコン、コンプレッサー等省エネ機器の導入

6	【カーボンニュートラル③】 <創エネ>再生可能エネルギーの導入 ※再エネの売電は、環境 9「環境配慮型商品・サービスの提供」に記載してください	○	<KPI> 再エネ発電量 0kWh/年(2023/3月時点) 【主な取組】 再生可能エネルギーの導入検討	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 再エネ発電量 1,700kWh/年(2031/3月時点) 【目標達成に向けた取組】 2025年度までに、太陽光発電の導入、もしくは電力会社の再エネ ECO プランの契約を行い CO2 削減が望めるプラン変更を検討する。
7	7 廃棄物の削減 ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	○	<KPI> 売上高あたり廃棄量(0.128t/百万円) 【主な取組】 金属とプラスチックの分別による有価転化の積極実施。 社内不用品の再使用促進呼びかけによる再資源化	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 2026/3月に売上高あたり廃棄量(0.125t/百万円)を目指す 【目標達成に向けた取組】 ・現在の取組を継続実施する。 ・不適合で廃却する製品を铸造工場で再利用する。 ・混載コンテナ内に廃棄されている書類ファイルなどを社内リサイクルコーナーへ提供し産廃発生量を抑制する。
8	8 水資源の適正な管理	○	【主な取組】 ・水使用量実績を調査し、変化点確認を実施。(53,000 m ³ /年) ・生産設備水洗水の廃水を処理施設で再生し再利用している(50 m ³ /日)	【今後の目標・達成時期】 2022年対比△2%水使用量削減(2025年度) 【目標達成に向けた取組】 現行の開放式クーリングタワーから密閉式クーリングタワーに変更し水使用量の削減を図る(23年度から1台/年更新し3台実施)
9	9 環境配慮型商品・サービスの提供 ※環境に関する内容を記載してください	○	【主な取組】 ・EVに搭載される新製品の受注増加に対応 ・環境配慮型商品の認定・全ての使用材料についてグリーン調達の実施 ・RoHS 指令、REACH 規則への準拠 【課題】 ・日本国内外でEVの割合が増加しており、EV搭載品の生産増加が想定される。	【今後の目標・達成時期】 ・2030年度のEV関連製品、新製品の販売目標を立案 ・顧客と協業による顧客設計に基づいた製品部品の製作対応(2030年度) 【目標達成に向けた取組】 ・計画に沿った設備投資の実施 ・人材の有効活用のための、改善による省人化の実施、現有品の整理とレイアウトの見直し ・新規品に向けた製造技術の確
10	10 環境面での社会貢献 ※環境に関する内容を記載してください	○	【主な取組】 ・工場内の側溝に流れる水の状態を毎日点検し、工場周辺の河川も定期的に点検している。 ・トナー回収 ・全従業員に対し、環境教育(全社員テスト)を2回/年実施し、意識向上をはかる。	【今後の目標・達成時期】 2025年まで地域貢献活動を毎年実施 【目標達成に向けた取組】 社内で地域貢献活動グループを結成し、計画的に社員参加型の地域貢献活動を実施する。
+	プラスワン 【従業員の環境意識向上】 ★SDGsに関する特徴的取組で、環境1～10に該当しない取組があれば記載できる	○	【主な取組】 各部持ち回りで、月に2回、構内の環境ツアーと称した点検を実施し、点検ポイントを理解することで意識向上を図る。また、指摘事項を改善することにより環境事故リスクの芽を事前に摘み取る。	【今後の目標・達成時期】 2025年度まで引き続き継続する。 【目標達成に向けた取組】 改善事項で大きな費用がかかるものは、計画的に予算を取り実行する。